

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
機能訓練 2											
対象	3年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	塚本哲也			実務 経験	有	職種	柔道整復師（介護施設にて勤務経験あり）				
授業概要											
機能訓練指導員として必要な知識を学びます。											
到達目標											
機能訓練指導員とは、日常生活を営むのに必要な機能の減退を防止するための訓練を行う能力を有する者であり、通所介護事業などで利用者への機能訓練を行うことで、能力の維持向上を図ることが活動の主体となる。この科目では、高齢者の身体特性と慢性疾患・既往症・合併症ならびに機能訓練に必要なリハビリテーション知識と装具などの実際について理解することで高齢者福祉に貢献する人材を育成することを目標にしている。											
授業方法											
教科書を中心に実際の装具を用いた使用方法などの説明も含めて、学生が想像しやすい、より現場に近い内容で進めるものである。理学療法・作業療法・言語治療ならびに高齢者福祉についても理解を深める。多くの高齢者が要介護状態となることを予防して健康保持増進に努めることができるための学びに重点を置く。											
成績評価方法											
試験・課題等を総合的に評価する。											
履修上の注意											
国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書は「リハビリテーション医学」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	リハビリテーションの実際①（脳卒中の分類・特徴・障害）										
第2回	リハビリテーションの実際②（脳卒中のリハビリテーション）										
第3回	リハビリテーションの実際③（脊髄損傷の病態と評価法・合併症と対策・リハビリ）										

柔道整復科

機能訓練 2

第4回	リハビリテーションの実際④（脳性麻痺・二分脊椎などのリハビリテーション）
第5回	リハビリテーションの実際⑤（切断・末梢神経損傷・関節リウマチのリハビリテーション）
第6回	リハビリテーションの実際⑥（関節リウマチの診断・治療・評価・リハビリテーション）
第7回	リハビリテーションの実際⑦（心疾患・呼吸器疾患の概念・評価・リハビリテーション）
第8回	リハビリテーションの実際⑧（老人とその疾患の特徴ならびに問題点など）
第9回	8回までの振り返りと確認演習
第10回	リハビリテーションと福祉（主に介護保険）
第11回	リハビリテーションと福祉（認知症や認知症患者の対応）
第12回	リハビリテーションと福祉（機能訓練指導員としての業務）
第13回	リハビリテーションと福祉（教科書『柔道整復師と機能訓練指導』からの知識を確認）
第14回	リハビリテーション医学前半まとめ
第15回	リハビリテーション医学後半まとめ